

オサカかコサカか？

以前、小坂小学校の小坂の読みはオサカかコサカかという事が話題になりました。今はオサカですが、明治二十六年に小坂村で唯一の尋常小学校として開校したので、当初、校名の読みは村名と同じでコサカでした。（小袋谷村は、明治二十一年に近くの五つの村と合併して小坂村となりました。）しかし、大正の頃に先生達から正しくはオサカではないかという声が上がったそうです。それは、この村名が江戸時代のこの辺一帯の郷名に由来し、その郷名、小坂郷の読みが新編相模国風土記稿に漢字表記で「遠佐可」（オサカ）と載っていたからのようです。幕府の命で昌平坂学問所が一八四二年に完成させた新編相模国風土記稿は、明治十七年に活字本が作られ明治二十一年に印刷出版されましたが、指摘されたのは大正に入ってからなので一般に普及するのに時間がかかったようです。ある長老は、昭和の初めの頃、小学校の習字の時間に「遠佐可」を書かされた記憶があるそうです。正式に読みがコサカからオサカに変わったのは、小坂村が昭和八年に大船町になった後、尋常小学校が国民学校に改称された時からという話と、鎌倉市と合併後、昭和三十年代半ば頃という話があります。

また鎌倉市史総説編には、小坂という地名は鎌倉時代逗子市小坪に住んでいた小坂氏に由来するのではないかと書かれています。振り仮名のついている寛永版吾妻鏡において、小坂氏についている振り仮名もオサカとなっています。